

科目名 :	<b>生物と地球環境（令和元～4年度入学生用）</b>						
英文名 :	Organisms and Global Environment						
担当者 :	阿野 貴司・三谷 匡・尾崎 嘉彦・中西 章・秋田 求・宮本 裕史・ 武部 聡・松本 和也						
開講学科 :	生物工学科						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	基礎科目						
備 考 :	【開講曜日・時限】木曜1限						

### ■ 授業概要・方法等

生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るためになすべきことを科学技術の観点から考察する。

### ■ 授業形態

対面授業（全授業回）

### ■ アクティブ・ラーニングの形態

ディスカッション、ディベート

### ■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

### ■ 使用言語

日本語

### ■ 学習・教育目標及び到達目標

受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、本学部の定めるディプロマポリシー 4 の達成に関与する。

### ■ 成績評価方法および基準

レポート（阿野・秋田） 35%  
宮本課題レポート（小試験） 15%  
三谷課題レポート 5%  
松本課題レポート（ルーブリック評価） 5%  
中西課題レポート 5%  
武部・尾崎課題レポート 35%

### ■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題に関する要点と解説を、UNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

### ■ 教科書

【留意事項】特に指定しない。

### ■ 参考文献

[ISBN]9784274219276 [絵とき] 植物生理学入門 山本良一（編） オーム社（2016年）  
[ISBN]9784759811070 植物生理学 三村徹郎・鶴見誠二（編著） 化学同人（2009年）  
[ISBN]9784274208201 環境科学 吉原利一（編） オーム社（2010年）

### ■ 関連科目

特になし。

### ■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

### ■ 研究室・メールアドレス

阿野研究室（西1号館4階458）・tano@waka.kindai.ac.jp  
秋田研究室（西1号館5階557）・akita@waka.kindai.ac.jp  
松本（和）研究室（西1号館6階658）・kazum@waka.kindai.ac.jp  
三谷研究室（東1号館5階521）・mitani@waka.kindai.ac.jp  
中西研究室（西1号館6階652）・nakanishi@waka.kindai.ac.jp  
宮本（裕）研究室（西1号館4階457）・miyamoto@waka.kindai.ac.jp  
武部研究室（西1号館6階660）・takebe@waka.kindai.ac.jp  
尾崎研究室（西1号館1階153）・ozaki@waka.kindai.ac.jp

## ■ オフィスアワー

複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT (<https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/>) のオフィスアワーを参照すること。

## ■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

### 第1回 地球環境（1）（阿野）

予習内容：地球環境問題の整理

予習時間：30分

復習内容：地球環境の成立と地球環境問題の本質的原因

復習時間：30分

### 第2回 地球環境（2）（阿野）

予習内容：地球環境問題の原因と持続可能な社会と環境技術

予習時間：30分

復習内容：持続可能な社会

復習時間：30分

### 第3回 植物と環境（1）（秋田）

予習内容：参考図書等を手がかりに植物の構造、光合成反応、窒素同化経路について調べる。「気孔」、「葉緑体」、「光化学系Ⅰ・Ⅱ」、「ルビスコ」、「カルビン回路」、「硝酸還元酵素」、「GS-GOGAT経路」、「グルタミン酸合成」をキーワードとして予習する。

予習時間：90分

復習内容：予習した内容、ユニパに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを作成させる。

復習時間：60分

植物の作用により周辺環境が変化する。その例として、温度低下、二酸化炭素吸収・同化、無機窒素吸収・同化について、その仕組みとともに説明する。

### 第4回 植物と環境（2）（秋田）

予習内容：参考図書等を手がかりに、窒素と硫黄の代謝経路、植物の異物代謝および土壌微生物に対する植物の影響を調べる。「窒素同化」、「硫黄同化」、「ファイトレメディエーション」、「根圏効果」をキーワードとして予習する。

予習時間：90分

復習内容：予習した内容、ユニパに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを作成させる。

復習時間：60分

植物の作用により環境を浄化できる。その例として、大気中の窒素・硫黄酸化物（NOX・SOX）浄化、土壌中の有機汚染物質や重金属汚染物質の浄化について、その仕組みとともに説明する。

### 第5回 地球環境と微生物・植物（阿野・秋田）

予習内容：参考図書を活用しながら、講義中の資料、ユニパに掲載したパワーポイント、授業中に書いたメモをもとに、これまでの4回の講義内容を整理する。

予習時間：90分

復習内容：提示された復習問題に対する各自の答えを作成させる。

復習時間：90分

地球環境の成立過程と地球環境問題の内容、解決策と技術の理解を深める。その後、植物と環境とのかわりに関する問題に答える。

### 第6回 環境とヒトの感覚の進化（宮本）

予習内容：予習内容：ヒトの感覚について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：復習内容：感覚情報が成立する意味について理解する。

復習時間：60分

### 第7回 動物とヒトの環境に対する適応（宮本）

予習内容：動物の多様性について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：ヒトを含めた動物の形態進化の意味を理解する。

復習時間：60分

#### **第8回 野生動物の保護と環境の保全～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～（三谷）**

予習内容：野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取り組むべき方策について考察する。

復習時間：60分

#### **第9回 環境(光)と遺伝子～時計遺伝子～（松本）**

予習内容：2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。

予習時間：30分

復習内容：多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム（概日リズム）が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。

復習時間：60分

#### **第10回 生物環境の変化と新興感染症（中西）**

予習内容：新興感染症について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：環境破壊・地球温暖化と新興感染症の拡大について考察する。

復習時間：60分

#### **第11回 食品産業と環境（尾崎）**

予習内容：農水省HPの[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku\\_loss/attach/pdf/161227\\_6-6.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/attach/pdf/161227_6-6.pdf)  
環境省HP<http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>

を参照し、食品加工廃棄物と食品ロスについて自分なりに整理をしておく。

予習時間：60分

復習内容：講義で紹介した事例以外の主要な食品加工廃棄物について、発生量、再利用の現状について調べておく。

復習時間：30分

「食品産業における廃棄物の現状および食品リサイクル法への対応状況について俯瞰する」

#### **第12回 食品系未利用バイオマスの高度利用（尾崎）**

予習内容：[https://katosei.jsbba.or.jp/download\\_pdf.php?aid=38](https://katosei.jsbba.or.jp/download_pdf.php?aid=38)に目を通しておく。

予習時間：30分

復習内容：講義で紹介した事例以外の食品系未利用バイオマスの高度利用の実例について調べておく。

復習時間：60分

「食品加工廃棄物、食品ロスを含む食品系未利用バイオマスの高度利用技術についての方向性と技術開発の現状について論説する」

#### **第13回 食料生産と環境（武部・尾崎）**

予習内容：これまで学んだ食品系未利用バイオマスの高度利用に関するレポートを構想するとともに、インターネットを使って農林水産省のウェブサイト「農薬の基礎知識」（[http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_tisiki/tisiki.html](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tisiki/tisiki.html)）へ行き、ひと通り読んでおくこと。

予習時間：90分

復習内容：病害虫の種類、症状、被害の程度について調べ、何についてまとめるかレポートの構想を立て始める。（30分）

食品系未利用バイオマスの高度利用に関するレポートの作成。

復習時間：270分

食品系バイオマスの利用技術のまとめと環境負荷の小さい農薬開発の概略説明

#### **第14回 なぜ農薬は使われるのか（武部）**

予習内容：総合的病害虫、雑草管理（IPM）、有機農法について調べる。

予習時間：30分

復習内容：化学農薬の特性について調べ、環境負荷が小さくなる農薬の条件を考える。

復習時間：60分

農薬を効果的に用い使用量を抑えるIPMや無農薬農法について講述する。

#### **第15回 ‘安全’な農薬の開発（武部）**

予習内容：安全な農薬として社会が受け入れるには、どのような性質が必要かを考える。

予習時間：30分

復習内容：課題レポートの作成

復習時間：420分

標的生物のみに作用する選択毒性は、安全な農薬のためにとっても重要な性質である。BT剤を例に、選択毒性の分子機構について概説する。

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

経営者、技術者、研究者、行政官等の実務経験がある教員が行う授業